

HEART NEWS

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



Vol. 36



2019年2月24日に当院さくらホールにおいて、第5回大阪心不全地域連携の会（Osaka Stops Heart Failure, OSHEF）を開催いたしました。日曜日にもかかわらず大変多くの方々にご参集いただき心から感謝しております。OSHEFの活動もいよいよ本格化です。

まだまだ厳しい寒さが続く毎日ですが、地域医療機関の先生方はいかがお過ごしでしょうか。ハートニュースは創刊から6年がたちました。

2015年11月から開始した発作性心房細動に対する不整脈治療である心筋冷凍焼灼術（クライオアブレーション）、2016年4月からの重症大動脈弁狭窄症の治療法である経カテーテル的大動脈弁置換術（Transcatheter Aortic Valve Implantation: TAVI）そして2017年6月からは、急増する心不全患者に対しての「大阪心不全地域医療連携の会」開催、2018年8月から、閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術（PTSMA）の開始など、当科は、超高齢化、低侵襲治療などの時代のニーズに迅速に対応できるよう心がけてきました。今回のVol.36では、2018年における当院循環器センターの取り組み実績をご案内いたします。

今後も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) も是非閲覧ください。

大阪市立総合医療センター

循環器センター長

循環器内科部長

成子 隆彦

特集：循環器センター 2018年を振り返って

循環器内科の2018年の実績

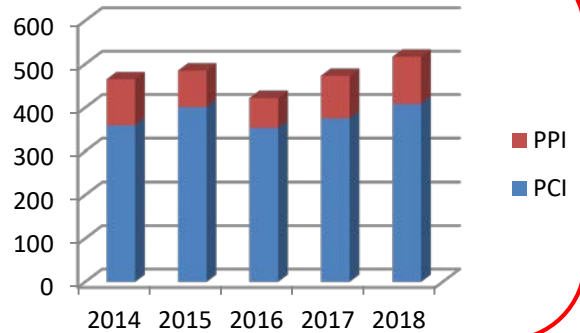
成子隆彦がセンター長として循環器センターを運営しています。地域医療機関のご協力のおかげでハートラインの件数も順調に増加しています。

今後も地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるよう、なお一層努力したいと思っております。

心臓カテーテル部門

成子、松本、仲川、齋藤、松下、加川が中心となっており、心臓カテーテル治療(PCI)と下肢治療(PPI)の総数は、昨年より増加し、500例を超えました。

もちろん虚血評価目的のFFR(冠血流予備量比)を132例施行、心筋生検も41例施行しています。2016年4月より開始しました経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)も71例施行し、順調に増加しています。また、閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術(PTSMA)を開始し良好な成績を収めています。

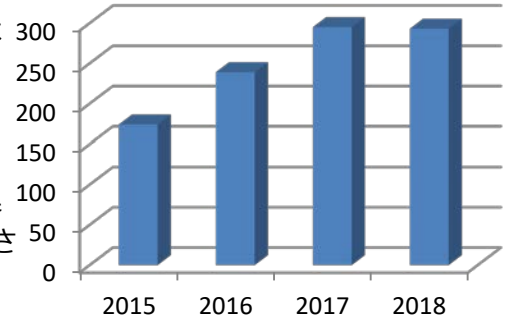


不整脈治療部門

占野、林、中達が中心となりアブレーション治療の件数は順調に増加し、292例行っています。中でも心房細動のアブレーション治療の件数は235例施行されました。

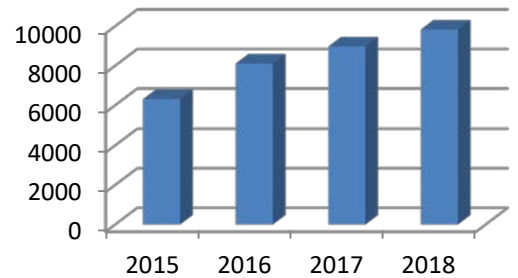
心臓デバイスは、永久ペースメーカーや植え込み型除細動器、両室ペーシングを含め計125例行っています。

また一昨年より植え込み可能となった皮下植え込み型除細動器は11例、リードレスペースメーカーの植え込みは、14例の患者さんに植え込みを施行しました。実績の詳細は、別紙をご覧ください。



心臓超音波検査部門

阿部、松村、野村と生理検査技師が中心となって頑張ってくれました。昨年の成人心臓超音波検査数は、9830例に増加しています。経食道エコー検査も422例と増加し、特に弁膜症については、他のどの施設よりも精度の高い診断を行っていると思っております。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川	成子
	占野(ペースメーカー)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)		松本(TAVI)

心臓血管外科の2018年の実績

2018年度手術実績は例年通り200例以上の心大血管手術を行うことができました。2016年4月より経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を開始し、2018度は71例に対して治療を行い、手術成績は良好です。また、通常の開胸・開腹の人工血管置換術に加えて、ハイブリッド手術室を利用して胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療を積極的に行っております。

2018年心臓大血管外科手術（228例）

虚血性心疾患（単独CABG）：32例
 弁膜症：143例（うちCABG併施3例、TAVI 71例）
 胸部大動脈瘤：45例（うちステントグラフト治療14例）
 先天性心疾患：3例
 その他：5例

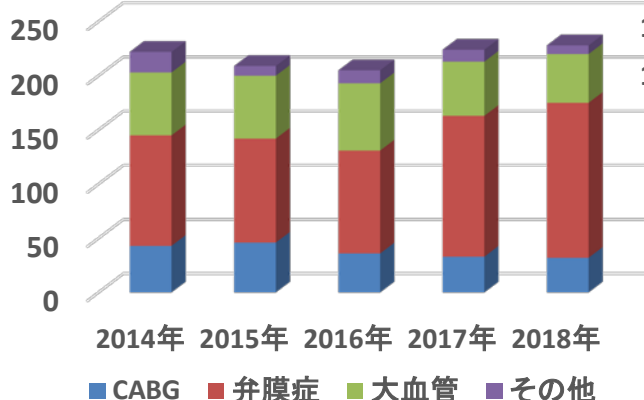
2018年末梢血管手術数（66例）

腹部大動脈瘤：41例（うちステントグラフト治療23例）
 末梢血管：20例

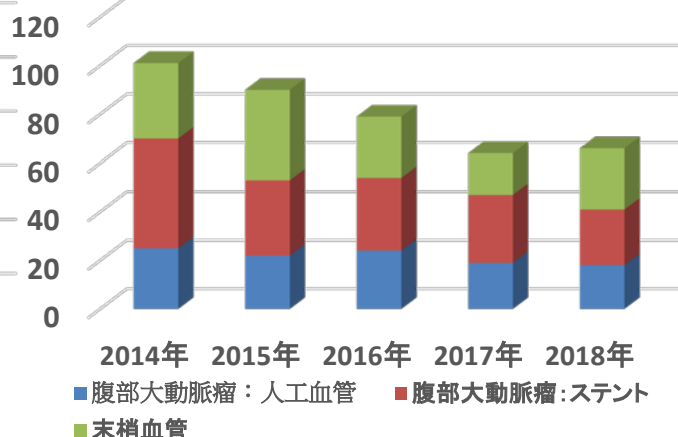
2019年の予定

今年度は、弁膜症手術（僧帽弁および大動脈弁）に対して、小開胸(MICS手術)を積極的に行い、開心術症例のより低侵襲化を目指していきたいと思います。また、大動脈センターを通じて、胸部・腹部大動脈瘤破裂や急性大動脈解離に対する緊急手術を積極的に行っております。さらに、引き続きハートラインを通して、緊急症例の受け入れを行い、地域医療に対して貢献してまいりたいと思います。

最近5年間 心臓大血管手術数



最近5年間 末梢血管手術数



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤
午後	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤

診察予約（地域医療連携室）

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

月曜～金曜 8:45～20:00

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。1-2月にも多くの研究会において、循環器センターのメンバーが発表してまいりました。（写真左上、中達医師@バイエリアハートカンファレンス；写真右上、松下医師@CVIT地方会；写真左下、加島医師@大阪木曜カンファレンス；写真右下、松本医師@Osaka PCI カンファレンス）。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。